



救命索発射器操作法を行う虻田救難所の所員

救難の技術向上を目指して、8月23日胆振西部5救難所合同訓練大会が有珠の野矢の間漁港で開かれ、虻田救難所（高清水幸夫所長）が3種目完全優勝を果しました。

参加したのは、虻田、室蘭、伊達、有珠、豊浦の各救難所。競技は、①ゴムボート操法②救命索発射器操法③心肺蘇生救急法の3種目で競われ、全種目で1位に輝き、2年ぶりの優勝を手にしました。

高清水所長は「日頃の練習の成果が結実した。これからも海難事故の防止に向けて、一層活動に力を入れていきたい」と決意を新たにしました。

## 虻田救難所完全優勝 胆振西部救難訓練大会

## ホームステイで留学生とふれ合う 国際交流の会

国際交流を通して青少年の相互理解と健全育成を目的に活動している洞爺湖町国際交流の会（大久保幸積会長）が、8月24日から8泊9日の日程で、4人の留学生を受入れ、サミット記念館などの施設見学やうどん作り体験などで交流を深めました。

来町したのは、台湾からの留学生チャン・イン・ロウさん（27歳）とチン・クアン・タさん（30歳）。マレーシア留学生のユザ・ヒロウミさん（18歳）にサウジアラビア留学生ヤヒヤ・マジッド・アブドゥルラオフ・エイさん（23歳）。4人は、町内でホームステイしながら、洞爺湖町での生活を楽



自分達で作ったうどんをたいらげる留学生ら

しました。

## 水泳選手権競技大会 自己記録更新続出

第24回洞爺湖町水泳選手権競技大会（とうや湖水泳協会主催）が、8月24日、町民プールで開かれ、虻田小、温泉小、豊浦小、虻田中、豊浦中のスイマー21人が、自己記録の更新を目標に、練習の成果を競い合いました

競技は、男女とも小学1・2年生、同3・4年生、同5・6年生、中学生の年齢別で実施され、25、50、100メートルの自由形、背泳ぎ、平泳ぎ、バタフライと100メートルの個人メドレー、メドレーリレーなどが行われました。



元気よく水中に飛び込むメドレーリレー

選手らは、家族や仲間の声援を受けながら、大会新を続出させる力強い泳ぎを披露し、練習の成果を十分に発揮しました。



全道大会の成績を報告する洞爺中ペア

8月4日帯広市で開催された、平成25年度北海道中学校体育大会・第34回北海道中学校ソフトテニス大会で、洞爺中学校ソフトテニス部の宮田佳奈さん（3年）と石井美来さん（同）のペアが女子ダブルス個人戦で、全道ベスト16に輝きました。

8月26日には、加賀谷校長、顧問の川上先生と共に役場を訪れ、八木橋副町長と綱嶋教育長に全道大会の活躍を報告しました。二人は、「初戦突破を目標にして臨みましたが、ゲームを重ねるごとに思いのほか冷静に試合ができた」と大会を振り返り、「進学してもテニスを続けていくこと」を誓いました。

## 洞爺中の宮田、石井ペア 全道テニス大会でベスト16進出